

令和3年4月から 新たなごみ焼却施設を 供用開始します

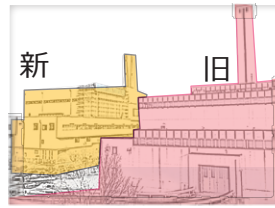
平成元年の稼働以来32年
余りが経過し老朽化が進ん
でいたごみ焼却施設は、平
成30年度から進めている建
設工事の完成により生まれ
変わります。

現在、新たなごみ焼却施
設は、4月からの本格的な
ごみの受け入れに備えて万
全な態勢を整えるため、試
運転を行っています。

新たな施設は、従来より
も多くのごみが貯められる
ごみピットを備えているほ
か、地震や水害などで施設
が被災した場合も、迅速な
復旧によりごみの受け入れ
ができるなど、施設機能が
強化されています。

また、ごみを燃やしたと
きに発生する熱は、発電を
行うため利用されます。こ
のごみ発電によって生まれ
た電気は、石油・石炭等の
化石燃料を使わない、地球
環境に優しいエネルギーと
して注目されており、施設
内で使われるほか、余った

左 奥：新ごみ焼却施設
右手前：旧ごみ焼却施設



電力は売電し、その電力を
市内小中学校や公共施設に
供給することで、「電力の
地産地消」に取り組みます。
この取組をはじめ、施設内
の展示学習コーナーでは、
自然環境を守るため「いま
ま」を知り、「現場」に触
れ、「未来」を考えること
をテーマに、実効性の高い
環境教育の推進を図ります。
新たなごみ焼却施設は、
皆さまの暮らしを支えられ
るよう、適正なごみの処理
に取り組みとともに、地域
で発生したごみで、電気を
つくり、地域に供給するこ
いった資源循環型の社会づ

くりに向けた地域エネル
ギーの拠点となる施設です。
一方、従来のごみ焼却施
設は、これまで長い間ごみ
を燃やし続け、その量は1
30万トンを超え、満水の
25mプールで約4000杯
分の重さに匹敵します。
平成から令和という時代
の節目を見届け、地域のご
み処理の中枢を担ってきた
「大先輩」は、その役目を
次にバトンタッチし、解体
までの間、静かに「後輩」
の活躍を見守り続けます。
お疲れ様でした。

よくあるお問い合わせに
お答えします

Q1 これまでとごみの分別方法は変わるの？

ごみの分別方法は変わりません。
本市では、ごみと資源を区別し、効率的にリ
サイクルを行うため、5種類（①もやすごみ、
②プラスチック製容器包装類、③ペットボトル、
④びん・缶、⑤金属・その他）の袋による分別
をお願いしています。
今後も引き続き、リサイクル推進に取り組ん
でまいります。

Q2

新施設に直接ごみを持ち込む場合、 出入口は変わるの？

これまでどおり、クリーンセンターの東側（コンポ
ストセンター側）の入口からお入りください。クリーンセ
ンター構内は、誘導員の指示によりご移動ください。

※ 構内搬入経路の詳細について、詳しくお調べになりたい場
合は、鶴岡市ごみ焼却整備・運営事業工事施工状況ホーム
ページをご確認ください。

<http://tsuruoka-clean-kensetsu.com/>
「鶴岡ごみ焼却施設」で検索
> トップページ > 地域住民の皆様へ
> 構内の搬入経路について



【廃棄物対策課】